

# X-DO-A/X-DO-B

## 取扱説明書

IMS01N05-J3

理化工業製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みいただき、内容を理解されたうえでご使用ください。なお、本書は大切に保管し、必要なときにご活用ください。

### 本書の表記について

**警告** : 感電、火災(火傷)等、取扱者の生命や人体に危険がおよぶ恐れがある注意事項が記載されています。

**注意** : 操作手順等で従わないと機器損傷の恐れがある注意事項が記載されています。



: 特に、安全上注意していただきたいところにこのマークを使用しています。



: 操作や取扱上の重要事項についてこのマークを使用しています。



: 操作や取扱上の補足説明にこのマークを使用しています。



: 詳細・関連情報の参照先にこのマークを使用しています。



### 警告

- 本製品の故障や異常によるシステムの重大な事故を防ぐため、外部に適切な保護回路を設置してください。
- すべての配線が終了するまで電源を ON にしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 本製品は、記載された仕様の範囲外で使用しないでください。火災・故障の原因になります。
- 引火性・爆発性ガスのあるところでは使用しないでください。
- 電源端子など高電圧部に触らないでください。感電の恐れがあります。
- 本製品の分解、修理、および改造はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。

### 輸出貿易管理令に関するご注意

大量破壊兵器等(軍用用途・軍事設備等)で使用されることがない様、最終用途や最終客先を調査してください。なお、再販売についても不正に輸出されない様、十分に注意してください。

### 注意

- 本製品は、産業機械、工作機械、計測機器に使用されることを意図しています。(原子力設備および人命にかかわる医療機器などには使用しないでください。)
- 本製品はクラス A 機器です。本製品は家庭内環境において、電波障害を起こすことがあります。その場合は使用者が十分な対策を行ってください。
- 本製品は強化絶縁によって、感電保護を行っています。本製品を装置に組み込み、配線するときは、組み込み装置が適合する規格の要求に従ってください。
- 本製品におけるすべての入出力信号ラインを、屋内で長さ 30 m 以上で配線する場合は、サージ防止のため適切なサージ抑制回路を設置してください。また、屋外に配線する場合は、配線の長さにかかわらず適切なサージ抑制回路を設置してください。
- 本製品は、計装パネルに設置して使用することを前提に製作されていますので、使用者が電源端子等の高電圧部に近づけないような処置を最終製品側で行ってください。
- 本書に記載されている注意事項を必ず守ってください。注意事項を守らずに使用すると、重大な傷害や事故につながる恐れがあります。
- 配線を行うときは、各地域の規則に準拠してください。
- 感電、機器故障、誤動作を防止するため、電源、出力、入力など、すべての配線が終了してから電源を ON にしてください。また、入力断線の修復や、コンタクタ、SSR の交換など出力関係の修復時にも、一旦電源を OFF にし、すべての配線が終了してから電源を再度 ON にしてください。
- 本製品の故障による損傷を防ぐため、本製品に接続される電源ラインや高電流容量の入出力ラインに対しては、十分な遮断容量のある適切な過電流保護デバイス(ヒューズやサーキットブレーカーなど)によって回路保護を行ってください。
- 製品の中に金属片や導線の切りくずを入れないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- 端子ネジは記載されたトルクで確実に締めてください。締め付けが不完全だと感電・火災の原因になります。
- 放熱を妨げないよう、本機の周辺をふさがないでご使用ください。また通風孔はふさがないでください。
- 不使用端子には何も接続しないでください。
- クリーニングは必ず電源を OFF にしてから行ってください。
- 本製品の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。なお、シナ類は使用しないでください。変形、変色の恐れがあります。
- 表示部は硬い物でこすったり、たたいたりしないでください。
- イベント機能を待機動作(再待機動作含む)付き上限警報として使用する場合、待機動作中は警報が ON にならないため、操作器等の不具合によって、過昇温につながる場合があります。別途、過昇温防止対策を行ってください。

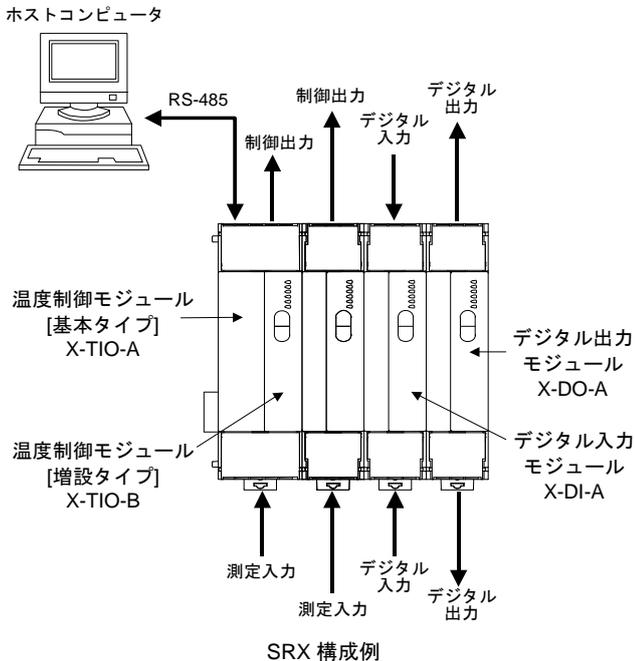
### ご使用の前に

- 本書では、読者が電気関係、制御関係、コンピュータ関係および通信関係などの基礎知識を持っていることを前提としています。
- 本書で使用している図や数値例、画面例は、本書を理解しやすいように記載したものであり、その結果の動作を保証するものではありません。
- 以下に示す損害をユーザーや第三者が被っても、当社は一切の責任を負いません。
  - 本製品を使用した結果の影響による損害
  - 当社において予測不可能な本製品の欠陥による損害
  - 本製品の模倣品を使用した結果による損害
  - その他、すべての間接的損害
- 本製品を継続的かつ安全にご使用いただくために、定期的なメンテナンスが必要です。本製品の搭載部品には寿命があるものや経年変化するものがあります。
- 本書の記載内容は、お断りなく変更することがあります。本書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点やお気づきの点などがありましたら、当社までご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で転載、複製することを禁じます。

# 1. 概要

デジタル出力 (DO) モジュールには、出力点数 12 点 (端子台のみ) の X-DO-A と、出力点数 28 点 (端子台 12 点/コネクタ 16 点) の X-DO-B があります。

デジタル出力 (DO) モジュールは、電源とホスト通信の端子を持っていないので、必ず電源とホスト通信の端子が付いたモジュール (温度制御モジュール [基本タイプ] X-TIO-A 等) と接続して使用します。



## ■ デジタル出力信号の内容

以下の信号が選択可能です。

### ● TIO モジュール

バーンアウト状態、第 1 イベント状態、第 2 イベント状態、ヒータ断線警報 (HBA) 状態、制御ループ断線警報 (LBA) 状態、プログラムエンド状態、パターンエンド状態、ウェイト状態、タイムシグナル 1~16 出力状態

### ● DI モジュール

DI モジュール CH1~28 入力状態

DO チャンネルの割り付けはすべて通信で行います。詳細はモジュールタイプ調節計 SRX 通信取扱説明書 (IMS01N01-J□) を参照してください。

# 2. 現品の確認

お手元の製品がご希望のものか、下記の型式コードで確認してください。

**X-DO-□**  
(1)

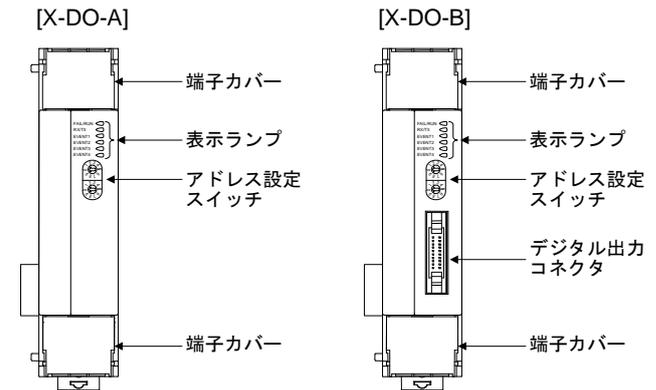
### (1) タイプ

- A: 出力 12 点 (端子台のみ)
- B: 出力 28 点 (端子台 12 点/コネクタ 16 点)

### ■ 付属品

X-DO-A/X-DO-B 取扱説明書 (IMS01N05-J3)..... 1

# 3. 各部の名称



## [表示ランプ]

- FAIL/RUN  
正常動作中: 緑色ランプ点灯 (RUN)  
異常時: 赤色ランプ点灯 (FAIL)
- RX/TX  
送信時および受信時: 緑色ランプ点灯
- EVENT 1~4  
出力 ON 時: 緑色ランプ点灯

DO チャンネルごとに EVENT1~4 が割り付け可能です。1 つの EVENT ランプにいくつかの DO チャンネルが割り付けられている場合、各 DO チャンネルの出力状態の OR でランプが点灯します。

# 4. 通信設定

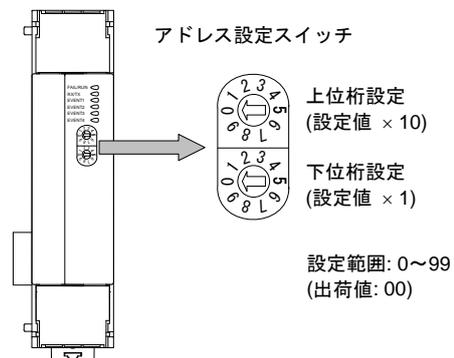
機器の取付/配線前に、通信に関する設定を行ってください。

## 注意

電源 ON 状態のまま、モジュール本体をターミナルベースから引き抜かないでください。機器故障の原因となります。

## 4.1 モジュールアドレス設定

モジュールのアドレスを設定します。設定は小型のマイナスドライバを使用してください。



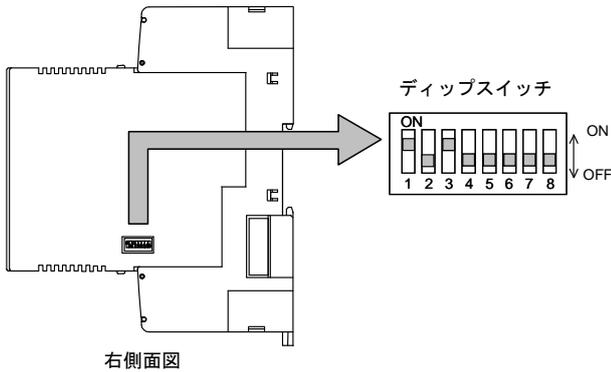
- MODBUS の場合、設定したアドレスに「1」を加えた値が、実際のプログラムで使用されるアドレスです。
- 同一ライン上では、モジュールアドレスが重複しないように設定してください。モジュールアドレスが重複すると、機器故障や誤動作の原因になります。



上図は X-DO-A モジュールの図ですが、X-DO-B モジュールの場合でも同様です。

## 4.2 プロトコル選択と通信速度設定

モジュールの右側面にあるディップスイッチで通信速度、データビット構成、プロトコル選択、および内部データバス終端抵抗設定を行います。なお、設定したデータは電源を再度 ON にするか、または STOP から RUN に変更することで有効になります。



1	2	通信速度
OFF	OFF	2400 bps
ON	OFF	9600 bps
OFF	ON	19200 bps
ON	ON	38400 bps

出荷値: 9600 bps

3	4	5	データビット構成
OFF	OFF	OFF	データ7ビット、パリティなし *
OFF	OFF	ON	データ7ビット、偶数パリティ *
OFF	ON	ON	データ7ビット、奇数パリティ *
ON	OFF	OFF	データ8ビット、パリティなし
ON	OFF	ON	データ8ビット、偶数パリティ
ON	ON	ON	データ8ビット、奇数パリティ

\* MODBUS 通信時は設定無効となります。

(ストップビットは「1」で固定です。)

出荷値: データ8ビット、パリティなし

6	プロトコル選択
OFF	RKC 通信
ON	MODBUS

出荷値: RKC 通信

8	内部データバス終端抵抗設定
OFF	終端抵抗 OFF
ON	終端抵抗 ON

出荷値: 終端抵抗 OFF



- スイッチ7はOFFで固定です。(変更不可)
- 複数台のモジュールを同一ライン上に接続して使用する場合、すべてのモジュールのディップスイッチ設定(スイッチ1~6)を同じにしてください。また、接続したモジュールの内、両端のモジュールのスイッチ8を必ずON(内部データバス終端抵抗ON)にしてください。
- スイッチ4~6で通信時間設定モードにできます。



通信時間設定モードについては、モジュールタイプ調節計 SRX 通信取扱説明書 (IMS01N01-J口) を参照してください。

## 5. 取 付



**警告**

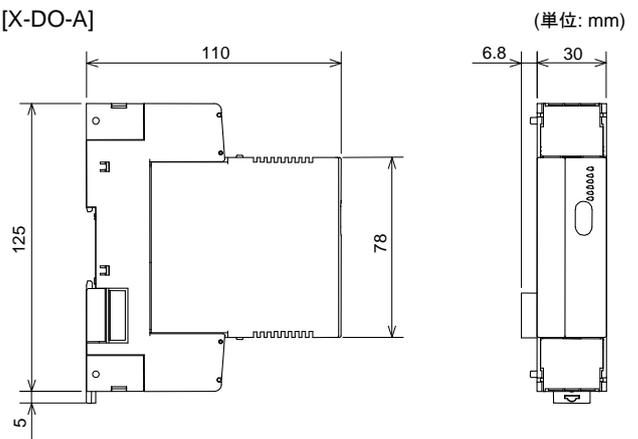
感電防止および機器故障防止のため、必ず電源を OFF にしてから本機器の取り付け、取り外しを行ってください。

## 5.1 取付上の注意

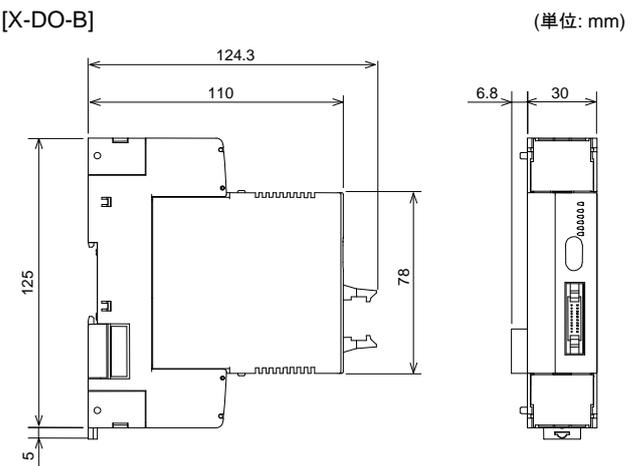
- (1) 本機器は、つぎの環境仕様で使用されることを意図していません。(IEC61010-1) [過電圧カテゴリ II、汚染度 2]
- (2) 以下の周囲温度、周囲湿度、設置環境条件の範囲内で使用してください。
  - 許容周囲温度:  $-10 \sim +50 \text{ }^{\circ}\text{C}$
  - 許容周囲湿度:  $5 \sim 95 \text{ \%RH}$   
(絶対湿度: MAX.W.C  $29 \text{ g/m}^3$  dry air at 101.3 kPa)
  - 設置環境条件: 屋内使用  
高度 2000 m まで
- (3) 特に、つぎのような場所への取り付けは避けてください。
  - 温度変化が急激で結露するような場所
  - 腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所
  - 本体に直接振動、衝撃が伝わるような場所
  - 水、油、薬品、蒸気、湯気のかかる場所
  - 塵埃、塩分、鉄分の多い場所
  - 誘導障害が大きく、静電気、磁気、ノイズが発生しやすい場所
  - 冷暖房の空気が直接あたる場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 輻射熱などによる熱蓄積の生じるような場所
- (4) 取り付けを行う場合は、つぎのことを考慮してください。
  - 熱がこもらないように、通風スペースを十分にとってください。
  - 発熱量の大きい機器(ヒータ、トランス、半導体操作器、大容量の抵抗)の真上に取り付けるのは避けてください。
  - 周囲温度が  $50 \text{ }^{\circ}\text{C}$  以上になるときは、強制ファンやクーラーなどで冷却してください。ただし、冷却した空気が本機器に直接当たらないようにしてください。
  - 耐ノイズ性能や安全性を向上させるため、高圧機器、動力線、動力機器からできるだけ離して取り付けてください。  
高圧機器: 同じ盤内での取り付けはしないでください。  
動力線: 200 mm 以上離して取り付けてください。  
動力機器: できるだけ離して取り付けてください。
  - 配線、保守、耐環境を考慮し、機器の上下は 50 mm 以上のスペースを確保してください。
- (5) 本機器の近くで、かつすぐに操作できる場所に、スイッチやサーキットブレーカーを設置してください。また、それらは本機器用の遮断デバイスであることを明示してください。

## 5.2 外形寸法

[X-DO-A]



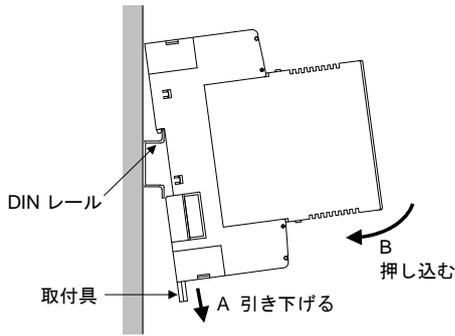
[X-DO-B]



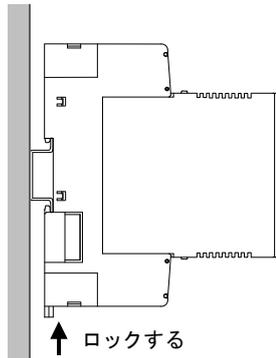
### 5.3 DIN レールへの取付

#### ■ 取付方法

1. 取付具を下に引き下げ (A)、裏面のツメを DIN レールの上側に引っかけてから、矢印の方向に押し込みます (B)。

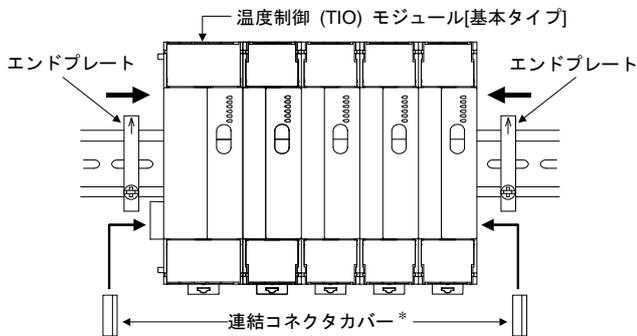


2. 取付具を上押し込んで、DIN レールから外れないようにロックします。



#### ■ エンドプレートの取付

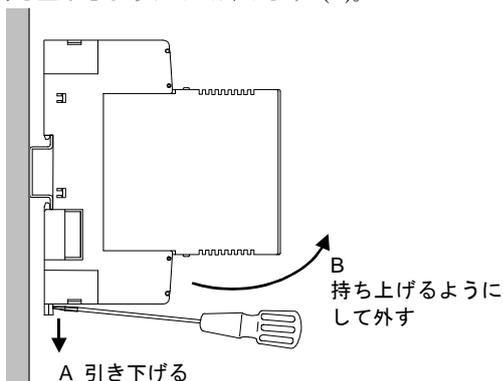
温度制御 (TIO) モジュール [基本タイプ] に付属されているエンドプレートを本体の両端に取り付け、ネジで固定します。



\* コネクタ接点保護のため、連結コネクタカバー (温度制御モジュール [基本タイプ] に付属) を、両端のモジュールに取り付けてください。

#### ■ 取り外し方法

マイナスドライバーなどで取付具を引き下げてから (A)、下側から機器を持ち上げるようにして外します (B)。



### 5.4 ネジ取付

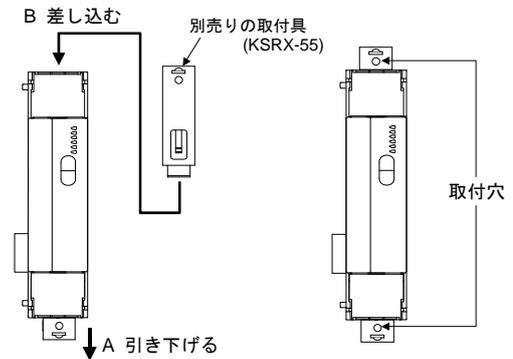
#### ■ 取付方法

1. 取付具をロックがかかるまで引き下げ、取付穴が見えるようにします (A)。
2. 別売りの取付具 (KSRX-55) を用意し、機器上部端子台の後ろ側にロックがかかるまで差し込みます (B)。ただし、取付穴が見えるようにします。
3. 上下の取付具の取付穴を使って、ネジで直接パネル等に取り付けます。

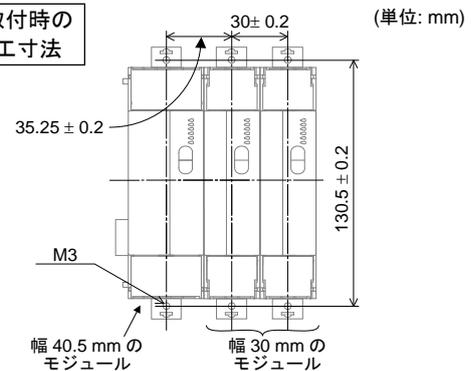
推奨締付トルク: 0.3 N・m



ネジは、M3 サイズで取付場所に合った長さのものを、お客様で用意してください。



ネジ取付時の  
穴加工寸法



### 5.5 モジュールの連結

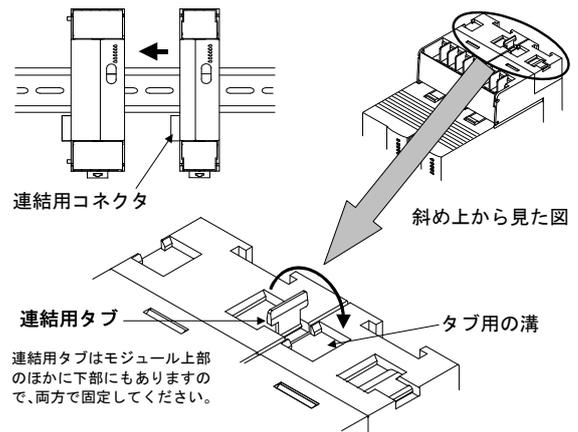
SRX は、各モジュールを合わせて最大 31 台まで接続することができます。モジュールの連結は、以下の方法に従ってください。

#### ■ 連結方法

1. モジュールを DIN レールに取り付けた後、モジュールをスライドさせて連結用コネクタでモジュールどうしを接続します。
2. モジュール上部および下部にある連結用タブを持ち上げて、隣のモジュールにあるタブ用の溝に押し込み、モジュールどうしを固定します。



ネジ取付の場合は、モジュールの連結が終了してからパネル等に取り付けてください。



## 6. 配線



**警告**

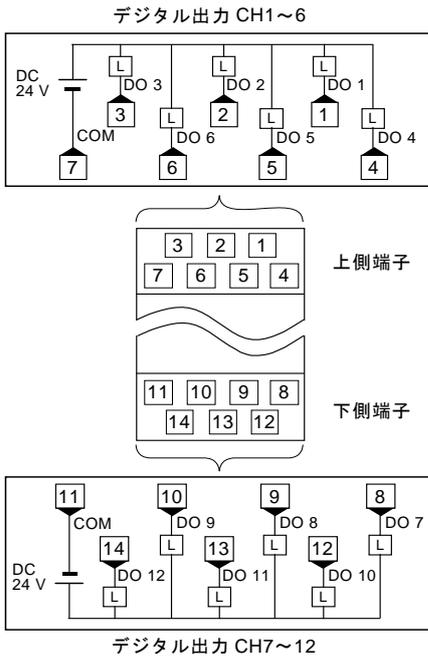
感電防止および機器故障防止のため、すべての配線が終了するまで電源を ON にしないでください。また、本機器への通電前には配線が正しいことを必ず確認してください。

**注意**

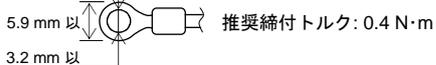
出力信号線はノイズ誘導の影響を避けるため、計器電源線、動力電源線、負荷線から離して配線してください。

### ■ 端子構成

#### ● X-DO-A, X-DO-B 共通



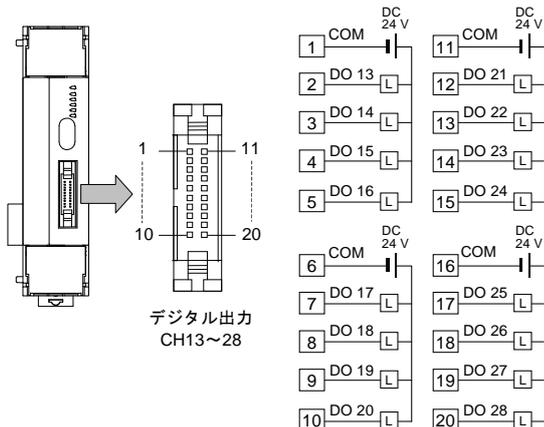
端子ネジは締めすぎないようにしてください。  
(ネジサイズ: M3×6 推奨締付トルク: 0.4 N・m)  
また、圧着端子 (指定圧着端子タイプ: 絶縁被覆付き) はネジサイズに適合するものを使用してください。



圧着端子などの導体部分が、隣接した導体部分 (端子等) と接触しないように注意してください。

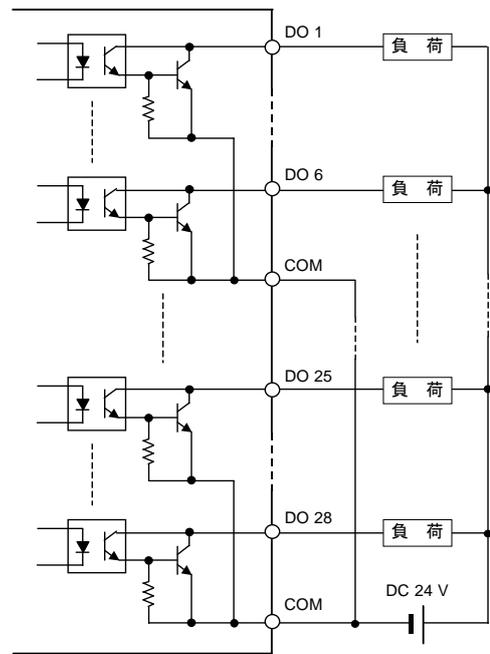
### ■ コネクタピン構成

#### ● X-DO-B のみ



1 番ピンと 6 番ピン、11 番ピンと 16 番ピンはそれぞれ内部で接続されています。

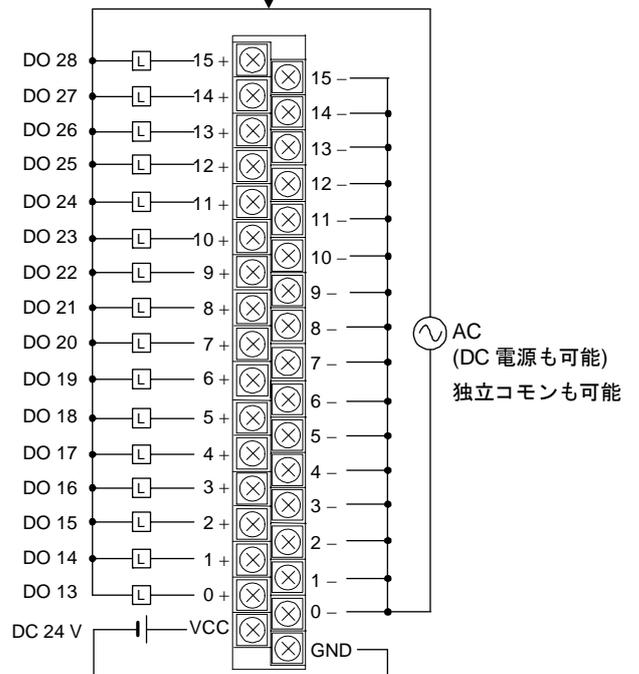
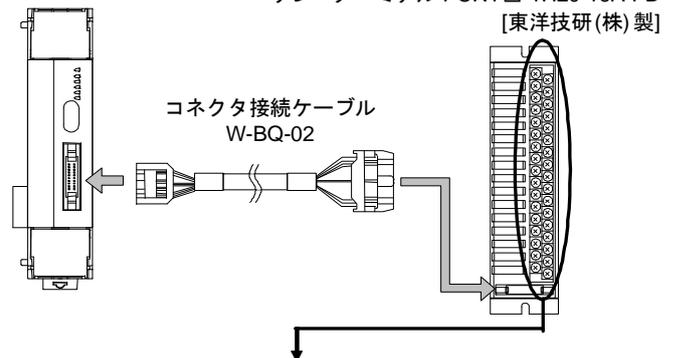
### ■ 回路構成



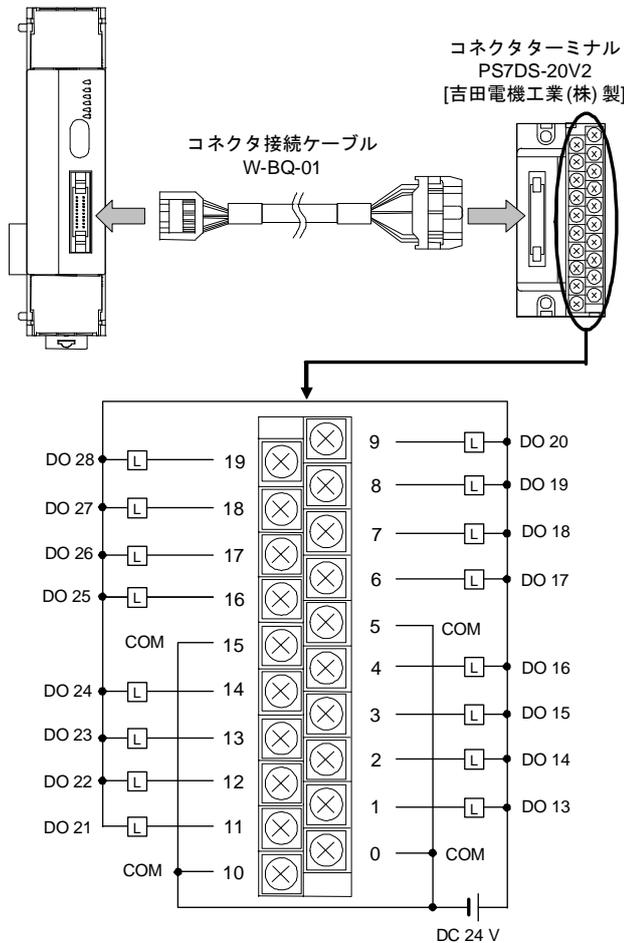
### ■ コネクタ接続例

#### ● リレー接点出力の場合 (リレーターミナルとの接続)

リレーターミナル PCRY□-1H20-16A-FD  
[東洋技研(株)製]



● トランジスタ出力の場合  
(コネクタターミナルとの接続)



接続ケーブルは、当社製 (別売り) のものを使用してください。

ケーブル型式: W-BQ-01-3000 [ケーブル標準長: 3 m]  
(コネクタターミナル接続用)  
W-BQ-02-3000 [ケーブル標準長: 3 m]  
(リレーターミナル接続用)

- コネクタターミナル推奨品: 吉田電機工業(株)製 PS7DS-20V2
- リレーターミナル推奨品: 東洋技研(株)製 PCRY-1H20-16A-FD (圧着端子 Y 型専用タイプ)  
PCRYR-1H20-16A-FD (圧着端子丸型、Y 型兼用タイプ)

## 7. 機能

### デジタル出力信号の内容

各 DO チャネルに対して、温度制御 (TIO) モジュールまたはデジタル入力 (DI) モジュールの各状態が出力信号として割り付けられます。

#### ■ 温度制御 (TIO) モジュール

TIO モジュールの以下の状態が、DO チャネルに対して自由に割り付けられます。

バーンアウト状態、第 1 イベント状態、第 2 イベント状態、ヒータ断線警報 (HBA) 状態、制御ループ断線警報 (LBA) 状態、プログラムエンド状態、パターンエンド状態、ウェイト状態、タイムシグナル 1~16 出力状態

#### ■ デジタル入力 (DI) モジュール

DI モジュールの以下の状態が、DO チャネルに対して自由に割り付けられます。

DI モジュール CH1~28 入力状態

AUG. 2013

## 8. 仕様

### ■ 出力

出力方式: トランジスタ出力 (シンクタイプ)  
定格負荷: DC 24 V  
最大負荷電流: 50 mA/点  
ON 電圧: 最大 2 V

出力点数: X-DO-A: 12 点 (6 点/コモン): 端子台  
X-DO-B: 28 点  
端子台: 12 点 (6 点/コモン)  
コネクタ: 16 点 (4 点/コモン)

### ■ デジタル出力機能

以下の信号が選択可能です

#### 温度制御 (TIO) モジュール:

バーンアウト状態、第 1 イベント状態、第 2 イベント状態、ヒータ断線警報 (HBA) 状態、制御ループ断線警報 (LBA) 状態、プログラムエンド状態、パターンエンド状態、ウェイト状態、タイムシグナル 1~16 出力状態

#### デジタル入力 (DI) モジュール:

DI モジュール CH1~28 入力状態

### ■ LED 表示

表示点数: 6 点  
表示内容: 動作状態表示: RUN/FAIL ランプ  
通信状態表示: RX/TX ランプ  
イベント状態表示: EVENT1~4 ランプ

### ■ 通信

#### 通信インターフェース:

EIA 規格 RS-485 準拠

#### 通信プロトコル:

RKC 通信  
(ANSI X3.28-1976 サブカテゴリ 2.5, A4)  
または MODBUS

#### 接続:

内部バス

### ■ その他

電源電圧: DC 21.6~26.4 V (電源電圧変動含む)  
定格 DC 24 V  
(温度制御モジュール [基本タイプ] から供給)

消費電流: X-DO-A: 70 mA 以下/モジュール  
X-DO-B: 90 mA 以下/モジュール

許容周囲温度: -10~+50 °C  
許容周囲湿度: 5~95 %RH (結露がないこと)  
絶対湿度: MAX.W.C 29 g/m<sup>3</sup> dry air at 101.3 kPa

設置環境条件: 屋内使用  
高度 2000 m まで

質量: X-DO-A: 約 150 g  
X-DO-B: 約 160 g

- MODBUS は Schneider Electric の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

初版: 2002 年 7 月 [IMQ00]  
第 3 版: 2013 年 8 月 [IMQ00]

## RKC 理化学工業株式会社

RKC INSTRUMENT INC.

ホームページ: <http://www.rkcinst.co.jp/>

本社: 〒146-8515 東京都大田区久が原 5-16-6  
TEL(03)3751-8111(代) FAX(03)3754-3316

● 東北営業所 〒024-0061 岩手県北上市大通 2-11-25-302 TEL(0197)61-0241(代)  
● 埼玉営業所 〒349-0122 埼玉県蓮田市上 2-4-19-101 TEL(048)765-3955(代)  
● 長野営業所 〒388-8004 長野県長野市篠ノ井会 855-1 TEL(026)299-3211(代)  
● 名古屋営業所 〒451-0035 名古屋市西区浅間 1-1-20 TEL(052)524-6105(代)  
● 大阪営業所 〒532-0003 大阪府淀川区宮原 4-5-36 TEL(06)4807-7751(代)  
● 広島営業所 〒733-0007 広島県広島市西区大宮 1-14-1 TEL(082)238-5252(代)  
● 九州営業所 〒862-0924 熊本県熊本市中心区帯山 6-7-120 TEL(096)385-5055(代)  
● 茨城事業所 〒300-3595 茨城県結城郡八千代町佐野 1164 TEL(0296)48-1073(代)

※技術的なお問い合わせは、カスタマーサービス専用電話 (03)3755-6622 をご利用ください。

The English manuals can be downloaded from the official RKC website:  
[http://www.rkcinst.com/english/manual\\_load.htm](http://www.rkcinst.com/english/manual_load.htm)

IMA01N05-J3